

「第3次相模原市一般廃棄物処理基本計画」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

1 概要

平成20年度に策定した第2次相模原市一般廃棄物処理基本計画(平成20年度から平成30年度まで)の計画期間の満了に当たり、更なるごみの減量化や資源化を推進することを目的に「第3次相模原市一般廃棄物処理基本計画」(以下、「計画」という。)を策定します。

この計画では、4R(発生抑制・排出抑制・再使用・再生利用)の更なる推進、一般廃棄物の適正処理、大規模な災害への備え等、長期的視点に立った基本的な方針を明確に示します。

この度、計画の策定に当たり、市民の皆様からのご意見を募集いたしました。

その結果、7人の方から17件のご意見をいただき、お寄せいただいた御意見の趣旨及び本市の考え方を次のとおり公表いたします。

2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 平成30年12月15日(土)～平成31年1月21日(月)
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページ、廃棄物政策課、南・北清掃工場、麻溝台・橋本台環境事業所、相模台収集事務所、津久井クリーンセンター、橋本台・麻溝台リサイクルスクエア、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター(城山・橋本・本庁地域・大野南まちづくりセンターを除く)、各出張所、各公民館(沢井公民館を除く)、各図書館、市立公文書館、広報さがみはら

3 結果

(1) 意見の提出方法

意見数		7人(17)件
内 訳	直接持参	0人(0)件
	郵送	0人(0)件
	ファクス	2人(4)件
	電子メール	5人(13)件

(2) 意見に対する本市の考え方の区分

- ア：計画案等に意見を反映するもの
- イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの
- ウ：今後の参考とするもの
- エ：その他(今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など)

(3) 件数と本市の考え方の区分

項 目		件数	市の考え方の区分			
			ア	イ	ウ	エ
①	生ごみ・食品ロスの削減に関すること	5		4	1	
②	過剰包装やレジ袋等の削減に関すること	1		1		
③	ごみの資源化の拡大に関すること	4		3	1	
④	一般ごみの処理の有料化に関すること	1		1		
⑤	収集運搬体制等の整備に関すること	2		1	1	
⑥	きれいなまちづくりの推進に関すること	2	1		1	
⑦	災害時のごみの排出方法等の広報に関すること	1		1		
⑧	その他	1				1
合 計		17	1	11	4	1

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
① 生ごみ・食品ロスの削減に関すること			
1	<p>重点施策「生ごみ・食品ロスの削減」の事項は非常に重要と考える。食べられるのに廃棄される食品が多いのはとても問題である。</p> <p>相模原市が実施している、中学校給食は、デリバリー弁当給食であるが、これは非常に食品ロスが多い。統計データからも、同じ給食であっても、自校式、親子式、センター式、デリバリー式の順に廃棄率が高くなっている。費用面はデリバリー式が最もかからないのだろうが、目先のお金だけにとらわれ、食品ロスを非常に増やしてしまっている方式は正しいと言えるのだろうか。</p> <p>今、周辺自治体でも、一旦費用がかからないのでデリバリー式を導入したものの、デメリットも多く、別の方式に見直している地域も多い。相模原も見直すときがきていると思う。</p>	<p>小学校給食で発生する残さの一部については、生ごみ・食品ロスの削減の観点から、民間の事業者と連携して飼料化に取り組んでおります。</p> <p>今後も学校給食で発生する残さの一層の減量化のため、事業者や学校との連携を進めてまいります。</p> <p>なお、本市の中学校給食の将来的な実施方式の在り方については、「相模原市立中学校完全給食実施方針」に基づき検討してまいります。</p> <p>(基本計画(案)の取組の柱Ⅰ「ごみの更なる削減」－基本施策2「事業系ごみの減量化・資源化」－実施事業1「生ごみ・食品ロスの削減」及び実施事業2「ごみの資源化の拡大」に「学校給食で発生する残さの減量化・資源化の推進」等を掲載)</p>	ウ
2	<p>ゴミ削減において、食品ロス削減が重要であることはわかる。現在の中学校給食は残食が非常に多く、毎日のように大量の廃棄がされていると聞く。残食の理由として、デリバリー給食が不評である事、昼食の時間が短すぎる事などが言われている。</p> <p>一方、自校方式がほとんどの小学校給食では残食が少ないという事実もある。デリバリー給食のまま廃棄量を減らす事が可能なのかも含め、学校給食を担当する課と連携をして給食における残食の減少を目指す計画も取り入れてもらいたい。</p>		イ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
3	<p>中学校給食における食品ロスがあるのではないかと心配している。</p> <p>注文数より多めに作っている予備があると思うが、それが結局食べられずに廃棄されているということや量や味、時間などの理由による残食が少なくないと聞いている。</p> <p>まず、それらの実際の状況を調べ、中学校給食における食品ロスの量、その費用換算などをして現実的にどれほどのロスがあるかをデータ化して、問題を可視化することにより改善していくべき。</p>	(前頁に記載)	イ
4	<p>現在相模原市の小中学校給食では、デリバリー給食、センター給食、自校式の給食の順に残さが多くなっている。</p> <p>この方式を自校式やそれに準ずるものに変えることにより、顔の見える関係を築くことで、食への感謝の気持ちを育み、給食の残さ、さらにはいろいろな食品ロスが減らせるのではないか。学校保健課など課の枠を超えてつながり、食品ロスについてより具体的な案を検討できるのではないか。</p>		イ
5	<p>「市が生ごみを収集し、それを堆肥化してくれる事業者へ委託する。さらに出来た堆肥を活用してくれる農家へ又はイベントなどで配布する。」といった生ごみ循環システムは出来ないのか。</p>	<p>本市では、生ごみの堆肥化等を啓発する「生ごみ4Rアドバイザー」と連携して講座を開催するなど、生ごみの堆肥化についての普及・啓発を行っております。</p> <p>また、生ごみ処理容器購入の助成制度や生ごみの堆肥化に取り組む団体に対する補助制度により、生ごみの減量化・資源化を推進しております。</p> <p>(基本計画(案)の取組の柱I「ごみの更なる削減」－基本施策1「家庭系ごみの減量化・資源化」－実施事業1「生ごみ・食品ロスの削減」に「生ごみ処理容器の利用促進」を掲載)</p>	イ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
② 過剰包装やレジ袋等の削減に関すること			
6	<p>マイクロプラスチックの問題が話題になっている。環境や健康に与える影響も心配である。</p> <p>市独自でなくてもいいので、情報を集めて広く知られるようにしていければいいと思う。</p>	<p>不法投棄されたプラスチック等については、環境への影響などが懸念されることから市民・事業者に対して積極的に情報の発信を行ってまいります。</p> <p>(基本計画(案)の取組の柱Ⅰ「ごみの更なる削減」－基本施策1「家庭系ごみの減量化・資源化」－実施事業2「過剰包装やレジ袋等の削減」に「不法投棄されたプラスチック等の環境への影響に関する情報提供」を掲載)</p>	イ
③ ごみの資源化の拡大に関すること			
7	<p>剪定枝のリサイクルは是非、進めてほしい。</p>	<p>本計画では、新たに家庭から排出される剪定枝の資源化の検討を掲げています。</p> <p>また、事業者から排出される剪定枝の資源化についても、受入先の拡大を検討するなど、更なる資源化に向けて取組を進めてまいります。</p> <p>(基本計画(案)の取組の柱Ⅰ「ごみの更なる削減」－基本施策1「家庭系ごみの減量化・資源化」－実施事業3「ごみの資源化の拡大」に「家庭から排出される剪定枝を新たな資源品目とすることの検討」等を掲載)</p>	イ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
8	<p>資源ごみについては、人手不足対策として、びんや紙類の分別をもっと細かくすることを提案する。</p>	<p>現在、紙類については、新聞、雑誌・雑がみ、段ボール、紙パック、紙製容器包装に分けて排出をお願いしております。</p> <p>また、びん類については、排出時の種類分けはお願いしておりませんが、今後、検討してまいります。</p> <p>(基本計画(案)の取組の柱I「ごみの更なる削減」－基本施策1「家庭系ごみの減量化・資源化」－実施事業3「ごみの資源化の拡大」に「新たな資源化に関する調査研究」を掲載)</p>	イ
9	<p>市民1人1日当たりの家庭ごみの排出量が減少しているのに事業系のごみの排出量は増加している。事業系は全て混在して排出している事業者が多いと思う。分別の徹底をお願いしたい。</p>	<p>本計画では、「事業系ごみの減量化・資源化」を更なる重点施策として掲げており、事業系ごみの分別や適正排出の促進に取り組んでまいります。</p> <p>(基本計画(案)の取組の柱I「ごみの更なる削減」－基本施策2「事業系ごみの減量化・資源化」－実施事業3「適正排出の推進」に「事業系ごみの搬入物検査の強化」等を掲載)</p>	イ
10	<p>ごみを焼却するよりリサイクルを推進しますが、リサイクル率は上がった方がよいのか。大量生産するからリサイクルをしなければいけないのではないのか。元から作らないのがいいのだが。</p> <p>また、焼却によって発生する熱エネルギーの活用はリサイクル率に加算されているのか。</p>	<p>本市では、ごみを減量化・資源化するために、国が提唱しているリデュース(排出抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の3Rにリフューズ(発生抑制)を加えた4Rを推進しており、本計画においても、ごみの発生を抑えていくことを、重要な視点として位置付けております。</p> <p>一方で、ごみと資源の分別を徹底していただくことにより、資源の循環が可能となることから、リサイクル率についても注視して取組を進めてまいります。</p> <p>なお、清掃工場においてごみの焼却により発生する熱エネルギーは、施設への蒸気の供給や余剰電力の売電等に有効活用しておりますが、リサイクル率には含まれておりません。</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
④ 一般ごみの処理の有料化に関すること			
1 1	排出量に対しての負担の公平化、意識改革にはなると思うが、市民が頑張っ てごみや資源を分別して出している ので有料化は最後の最後、慎重に検討 してもらいたい。	一般ごみの処理の有料化については、ご み処理手数料全体の適正な在り方や他自治 体の動向を調査研究するとともに、一般ご みの排出量が増加する場合などを想定し、 引き続き検討を進めてまいります。 (基本計画(案)の取組の柱Ⅰ「ごみの更 なる削減」－基本施策1「家庭系ごみの減 量化・資源化」－実施事業6「ごみ処理手 数料の在り方の調査研究」に「ごみ処理手 数料の適正な在り方の検討」等を掲載)	イ
⑤ 収集運搬体制等の整備に関すること			
1 2	高齢者人口は増えている。ごみの分 別、ごみ出しは大変困難になっている。 支援体制は具体的にどのようにするの か。	単身の高齢者等でごみ出しが困難な方へ の支援については、福祉分野等と連携しな がら対応を進めてまいります。 (基本計画(案)の取組の柱Ⅱ「ごみの適 正な処理」－基本施策1「ごみ処理体制の 整備」－実施事業3「収集運搬体制等の整 備」に「ごみ出しが困難な方への対応の検 討」を掲載)	イ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
13	<p>町田市では、びん・缶などはごみ・資源集積場所に大きいプラスチック製のケースを置き、それに直接入れるようにしている。</p> <p>相模原市では、ひとりひとりがビニール袋に入れて出しているが、回収後に袋から出す作業も一仕事と考える。又、昨今ビニール削減の運動も起きており、ビニールを減らすためにも良いと思われる。</p> <p>ケースの費用や管理の問題もあると思うが、相模原でもぜひ実施してほしいと思う。</p>	<p>びんや缶などの排出方法は、ごみ・資源集積場所に資源物等が置かれた際の安全面を考慮し、現行の方法としております。</p> <p>なお、ビニール袋などのいわゆるレジ袋の削減については、スーパーなど事業者自らによる削減の取組が広がっており、事業者への働きかけを強化するとともに、今後、マイバッグの利用促進等の取組につきましても、市民への啓発に努めてまいります。</p> <p>(基本計画(案)の取組の柱Ⅰ「ごみの更なる削減」－基本施策1「家庭系ごみの減量化・資源化」－実施事業2「過剰包装やレジ袋等の削減」に「レジ袋削減や簡易包装導入など、事業者への働きかけの強化」等を掲載)</p>	ウ
⑥ きれいなまちづくりの推進に関すること			
14	<p>2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催で相模原や近隣で競技が行われ、外国人観光客が多くなると思うが短期間でもごみの散乱、放置対策の啓発が必要と思う。</p>	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、自転車ロードレース競技のコースの一部が、本市域内に設定されていることから、多くの方々に関心をもって注目される機会であります。</p> <p>このような発信力の高いイベントを捉えて、ごみの散乱を防止する啓発活動を実施し、本市が「4R」を推進していることを国内外に広く発信してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、取組の柱Ⅲ「ごみゼロに向けた協働の推進」－実施事業1「きれいなまちづくりの推進」の行政の取組に「<u>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたイベント時の啓発活動の推進</u>」を追加します。</p>	ア

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
15	<p>各自治会（町内会）では防犯委員がおかれ街灯などの点検や見回りが行われているが、同様に道路上や駐車場脇などに長期間放置されたプラスチックごみを定期的に回収するための対策委員を設置し、定期的に回収されるようお願いしたい。</p>	<p>地域の環境美化については、各自治会の廃棄物減量等推進員の方々を中心に、地域清掃などの普及啓発にご協力をいただいております。</p> <p>また、本市では、毎年5月30日を「きれいなまちづくりの日」として定めており、この日を中心に地域清掃や市内駅における美化・啓発活動等に取り組んでおります。</p> <p>（基本計画（案）の取組の柱Ⅲ「ごみゼロに向けた協働の推進」－実施事業1「きれいなまちづくりの推進」に「自治会、廃棄物減量等推進員を始めとした関係団体との連携強化」等を掲載）</p>	ウ
⑦ 災害時のごみの排出方法等の広報に関すること			
16	<p>避難所や家庭でのトイレが使用できない時に溜まるだろうゴミの処理やその他のゴミについて、どのように処理されるのか、どのように保管しておくべきかなどわからない。</p> <p>一般家庭や、地域避難所で想定されること、その対処法などをわかりやすく共有できるようにしてほしい。</p>	<p>災害時のごみやトイレの対策は、発災後市民生活を支えていく上で重要な課題です。</p> <p>本計画では、「大規模災害への備え」を重点施策として掲げ、大規模災害時に短期間に大量に発生する災害廃棄物等の排出方法を検討するとともに、排出に係る市民への平時からの情報提供についても検討を進めます。</p> <p>（基本計画（案）の取組の柱Ⅴ「大規模災害への備え」－基本施策1「災害廃棄物等処理体制の整備」－実施事業1「災害廃棄物等の処理への備え」に「災害時の情報収集及び情報共有手段の確保」等を掲載）</p>	イ
⑧ その他			
17	<p>相模原市民の「環境」に対する意識向上のため、「環境部」の設置を提案する。さらに「環境部」は、プラスチックごみなどの廃棄物政策や河川や森林を含む水源の保全・再生、および防犯政策等に分割し、「環境」への意識を広く・身近に捉えられるようにしてほしい。</p>	<p>本市では、環境に関する組織体制として、河川や森林を含む水源の保全・再生などを所管する「環境共生部」、プラスチックごみなどの廃棄物政策を所管する「資源循環部」を設置しております。</p>	エ